

いなづま

題字 小寺寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合
 編集総務部
 住所 函館市日乃出町7番22号
 印刷所 畠山印刷



式典での大倉理事長あいさつ

**輝ける
半世紀への第一歩
組合創立40周年記念
式典盛大に挙行!!**

去る三月四日、当組合の創立四十周年記念式典ならびに祝賀会が、函館国際ホテルに於いて盛大に挙行された。

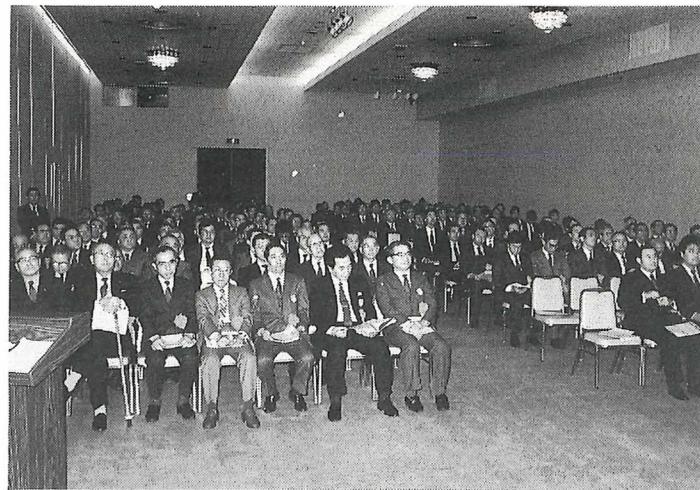
定刻の午後四時、阿部文男、佐藤孝行、奥野一雄（代理）代議士はじめ菊田滋札幌通商産業局公益事業部長、木戸浦隆一函館市長ら来賓八十三名の臨席を賜わり、組合員百五十一名総数二百三十余名が出席して式典が開会された。

吉田副理事長の開会の辞につづき関係物故者に黙とうを捧げたあと大倉理事長があいさつ。戦後のロウソク送電や農村電化の時代に先輩同志が苦労されて設立した組合も、無事四十年を迎えることが出来たお礼を述べ、この四十年間を振り返るとともに『昨年九月改正された電気工事法の施行に伴ない宿願の事業対象拡大によって共同保守管理事業など新しい時代の要請が加わる。今後も技術の進歩に対応し、先人の築いた発展の伝統を若い人に手渡し、ともに新らしい時代を切り開いて行きたい』と述べ、青函経済圏の到来など「新たな波」を前に確固たる決意を表明した。

次いで組合功労者表彰に移り、役員、訓練関係者、事務局職員ら二十二名に対し大倉理事長から表彰状と記念品が贈呈されたあと、道中小企業団体中央会長の表彰が行なわれ大倉理事長が受賞者十二人を代表して

株方忠副会長から表彰状を受けた。

来賓あいさつでは、阿部、佐藤両代議士のほか横路孝弘知事（出葉良彦渡島支店長代理）、菊田札幌通産局公益事業部長、木戸浦函館市長や北海道電力㈱の中野友雄社長（小林一三函館支店長代理）ならびに北海道中小企業団体中央会大町勝二会長（棟方副会長代理）からそれぞれ鄭重なる祝辞をいただき、北海道電気工業組合の島津孝吉理事長より『電気工事二法の改正や青函新時代の出発点に、創立四十周年を迎える意義は大きい』と激励のことばをいただいた。



- 第六回役員会** 62.1.11.10
- 一、慶弔報告
 - 二、貸付報告
 - 二社 100万円
 - 三、第五回電気工事業全国大会の報告
 - 四、各支部報告並提案事項
 - 五、総務委員会事項
 - (一)、代表者の変更
ユタカ電機㈱伊東研一（旧伊東幾郎）
 - (二)、所属支部の変更について
共栄電気工業㈱函館営業所→中支部→西支部
 - (三)、会計中間監査の報告
 - (四)、年末特別融資の申込みについて
 - (五)、電気使用安全月間ボランティア助成金について
実施支部に対して二万円を助成する。
 - (六)、賦課金等長期滞納者に対する措置について
 - (七)、支部運営費について
 - (八)、永年勤続者表彰式の来賓について
 - (九)、創立40周年記念誌座談会の開催について
 - (十)、季節雇用労働者の取扱いについて
 - 六、技術・教育委員会事項
 - (一)、電話工事担任者講習会の申込
 - (二)、北電工量単価の改正について
 - (三)、北電電設工事の申込みについて
 - (四)、北電資材管理所の合理化計画について
- 第七回役員会** 62.1.12.7
- 一、慶弔報告
 - 二、貸付報告
 - 三、各支部報告並提案事項
中渡島支部鹿部ロイヤルホテルで支部会議を開催する。
 - 四、総務委員会事項
 - (一)、昭和六二年度年末特別融資について
融資額 100万円 七件 700万円
貸出利率 年利 5・90パーセント
 - (二)、支部運営費の支出報告
 - (三)、道工業組合旅費の還付について
 - (四)、定款の変更について
 - (五)、40周年記念式典に伴なう組合功労者の表彰について
40周年記念式典来賓について
記念品について
同右
 - (六)、同右
アトラクションについて
アトラクションについて
アトラクションについて
アトラクションについて
 - (七)、事務局職員冬期手当の支給について
組合脱退申込みについて
 - 小川電気商会承認
 - (八)、青函博広告塔の電気工事について
昭和六三年度連合会々長表彰の候補について
 - 五、技術・教育委員会事項
 - (一)、北電工量単価の改正について
北電工量単価の改正について
 - (二)、北電電設工事の申込みについて
北電電設工事の申込みについて
 - 六、事業委員会事項
 - (一)、第三者損害賠償制度等実績資料について

(二) 道工業組合グループ共済制度の運営費、事務費の還付について

(三) 第三者損害賠償制度事故調査費の還付について

(四) 電気工事士本州派遣について

(五) 共同保守管理業務について

第八回役員会

一、慶弔報告

(一) 日本電設工業㈱函館支社代表者尊父逝去

(二) 成田電気工業所代表者怪我入院見舞

二、貸付報告

(一) 七社 二九〇万円

三、各支部報告並提案事項

各支部それぞれ支部会議にあわせて新年会を開催した。

四、総務委員会事項

(一) 事務局職員冬期手当の支給報告

(二) 渡島支庁による電気工事業法立入検査について

(三) 組合新規加入申込みについて

(四) 道工業組合総代会について

(五) 組合総代の選出について

(六) 創立40周年記念功労者の記念品について

(七) 記念式典当日午後の部業務の休業について

(八) 主任電気工事士研修会の開催

(九) 技術設計研修会の開催

(十) 計測器受払業務実績について

(十一) 第三者損害賠償制度等資料について

(十二) 電気工事士の本州派遣について

(十三) 保守管理業務契約について

(十四) 青函博行事の参加について

第九回役員会

一、慶弔報告

(一) (株)吉浦電機商会代表者岳父逝去

六三・二・一三

第一〇回役員会

六三・三・一八

一、慶弔報告

(一) 山口電気工業所代表者病気入院見舞

二、貸付報告

(一) 三社 二三〇万円

(二) 館脇電気工事㈱代表者尊父逝去

二、貸付報告

二社 一〇〇万円

三、各支部報告並提案事項

東支部新加入者の審議結果承認した。

八雲支部総会の日程・場所等について審議

(八雲ブロック) 安全協主催で交通安全講習会、労働

(九) 各支部報告並提案事項

東支部支部長、総代を選出した。

八雲支部

(八雲ブロック) 支部役員、総代を選出した。

北支部支部長、総代を選出した。

赤川支部支部長、総代を選出した。

四、総務委員会事項

(一) 創立40周年記念式典出席者数

中支部新加入者の審議結果承認した。

(森ブロック) 冬季安全大会を開催した。

(北) 永年勤続者表彰式費用について

(二) 創立40周年記念式典について

(三) 渡島支庁による電気工事業法立入検査の日程に

(四) 創立40周年記念式典について

(五) 組合新規加入申込みについて

(六) 道工業組合総代会について

(七) 創立40周年記念に係る新聞広告について

(八) 譲受・譲渡加入について

(九) (有)カトウ電工、(一)カトウ電工承認

(十) 技術・教育委員会事項

(十一) 電気通信設備工事担任者試験講習会

(十二) 北電引込線表示管取付の徹底について

(十三) 事業委員会事項

(十四) 第三者損害賠償制度等資料について

(十五) 大同生命团体共済制度の配当金について

(十六) 大同生命团体共済制度保険料の改正について

(十七) 第三者損害賠償制度等実績資料について

(十八) 建設省建築工事積算基準説明会

(十九) 第三者損害賠償制度等実績資料について

(二十) 共同保守管理業務実績について

(二十一) 青函博行事の参加について

(二十二) 青函博行事の参加について

(二十三) 青函博行事の参加について



組合行事

11月25日	大倉理事長、長崎県工業組合視察
10日	第六回役員会
13日	東支部会議
17日	全日本年末特別融資委員会
19日	赤川支部会議 永年勤続者表彰式（詳細別掲）
20日	道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理事長出席（於札電協）
25日	組合創立40周年記念誌のための座談会開催
26日	西支部会議
27日	江差支部会議
28日	中小企業団体事務長会研修会に坂本事務局長出席
12月2日	正副理事長会議
3日	八雲支部八雲ブロック会議 八雲支部森ブロック会議
7日	第七回役員会
8日	いなづま編集会議
11日	東支部会議
12日	創立40周年記念誌編集会議
18日	北支部会議
19日	創立40周年記念誌編集会議
22日	道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理事長出席（於札電協）
1月6日	御用仕舞
10日	八雲支部八雲ブロック新年会
11日	東支部役員会
11月	中小企業団体事務長会運営委員会に坂本事務局長出席
1月25日	八雲支部森ブロック新年会
18日	道工業組合役員会に大倉理事長出席
21日	道工業組合会計期末監査に吉田副理事長出席
22日	東支部会議兼新年会
23日	江差支部会議兼新年会
24日	八雲支部北檜山ブロック新年会
25日	道工業組合総代会に大倉理事長ほか理事六名出席（於札幌市）
26日	事業委員会
27日	中支部会議兼新年会
28日	江差支部会議兼新年会
29日	渡島支庁による電気工事業法立入検査
3月1日	創立40周年特別委員会
2日	中小企业団体中央会道南支部役員会に大倉理事長出席
3日	創立40周年記念特別委員会
4日	組合創立40周年記念式典・祝賀会
7日	渡島支庁による電気工事業法立入検査
8日	北支部会議兼新年会
2月2日	NHK主催AV放送研修会に二五名参加
26日	北支部会議
27日	第八回役員会
28日	創立40周年記念特別委員会
29日	創立40周年記念特別委員会
3月1日	中小企业団体事務長会研修会に坂本事務局长出席
2日	中小企业団体事務長会研修会に坂本事務局长出席
3日	JR津軽海峡線開業祝賀会に大倉理事長出席（於函館国際ホテル）
4日	総務委員会
5日	北電受付業務打合会議
6日	八雲支部八雲ブロック総会兼新年会
8日	八雲支部役員会
9日	創立40周年記念誌編集会議
10日	右
11日	東支部会議
12日	八雲支部安全衛生協議会
13日	主任電気工事士研修会（於ホテル函館アカシヤ）に一三六名出席
14日	中小企业団体事務長会研修会に坂本事務局长出席（於拓銀ビル）
15日	赤川支部会議
16日	北支部会議
17日	第一〇回役員会
18日	管内北工連絡会に大倉理事長ほか一四名出席（於北電会議室）
19日	青年部研修旅行（晴海見本市見学）
20日	道工業組合特別委員会に大倉理事長出席
21日	中渡島支部会議
22日	電気通信設備工事担任者試験講習会（出席者一七名）
23日	道工業組合特別委員会に大倉理事長ほか一四名出席（於札電協会館）
24日	渡島支庁による電気工事業法立入検査
25日	中支部会議
26日	西支部会議
27日	創立40周年記念誌編集会議
28日	東支部会議
29日	西支部会議
30日	小規模企業振興委員会連絡会議に坂本事務局长出席（於函館商工会議所）

第9回役員会

八雲支部森ブロック冬季安全大会

八雲支部森ブロック新年会

道工業組合総代会に大倉理事長ほか理事六名出席（於函館市）

創立40周年特別委員会

渡島支庁による電気工事業法立入検査

道工業組合役員会に大倉理事長出席

創立40周年記念特別委員会

渡島支庁による電気工事業法立入検査

中小企业団体中央会道南支部役員会に大倉理事長出席

創立40周年記念特別委員会

渡島支庁による電気工事業法立入検査

中小企业団体事務長会研修会に坂本事務局长出席

創立40周年記念特別委員会

永年勤続者表彰式



昭和六十二年度永年勤続者表彰名簿
(敬称略)

勤続年数	事業所名	勤続30年以上	
		氏名	保
勤続25年以上	樺電工業(株) (有)佐々木電気工業所	海谷信市 佐々木実	
勤続20年以上	樺平松電気工務所 (有)佐々木電設工事	大谷治身 佐藤正美津	
勤続15年以上	小沢電設工事 (有)岩越電機商会	五郎谷久美男 坂野伸二	
勤続10年以上	北海道電設工事(株) (有)佐々木電気工業所	長門伸 佐々木義彦	
勤続7年以上	同上	田中弘隆 扶美子	
勤続5年以上	同上	佐藤耕喜 平喜弘	
勤続3年以上	同上	佐藤伸 坂野晴彦	
勤続1年以上	同上	佐藤義彦 扶美子	
勤続1年未満	同上	佐藤伸 坂野晴彦	

昭和六十二年度の永年勤続者表彰式が、十一月十九日組合会議室に於いて被表彰者、来賓、組合役員等関係者が出席して挙行されました。

最初に大倉理事長が挨拶に立ち、当組合が明年三月に創立四十周年を迎える経緯を説明。さらに業界を取り巻く経済環境や函館地域の景況に触れ、「現在は青函博覧に伴なう駆け込み工事で非常に忙しい状況であるが、青函博が過ぎればまた元の低迷状態に逆戻りするのではないか」との厳しい見透しを示し、電気工事二法の改正更には電気工事施工管理制度の対応について説明、「これまで業界、企業を支えた力を磨き、健康に留意して一層の努力を期待する」と激励した。

このあと勤続三十年以上二名をはじめ二十二名の永年勤続者一人一人に表彰状と記念品を手渡し、長年の労をねぎらった。

次いで、北電函館営業所の佐々木吉孝所長が「今後業界に要請される新しい技術開発力と人材育成に対し、その中核となつて活躍を」と祝辞を述べ、最後に受賞者を代表して海谷信市氏（樺電工業（株）勤務）が謝辞に立ち、新たな決意を表明した。

このあと、今日までの労をねぎらい、又今後の健斗を祈ってささやかながらも和氣あいの裡に祝賀懇親会の一時を過ごし閉会した。

電気工事業法に基づく 立入検査



注)別表は次頁上段

渡島支厅による電気工事業法に基づく立入検査が、
二月末から三月上旬にかけて延五日間「九事業所(組
合員二六、非組合員三)」に対して実施された。
検査の結果指摘された主な事項は別表のとおりで、
相変らず店頭用標識の記載誤り、工事整理簿の記載不
十分が多く目立ちます。

電気工事業法により登録業者の有効期間は五年、届
出業者の有効期間は三年と定められており、その都度
更新の手続をするのであるが、新らしい登録(届出)
年月日ならびに登録(届出)番号が付与されたのに標
識を訂正せずそのまま掲示しているというのが誤りの
大多数であります。

工事整理簿の記載不十分では作業者名の記載のない
ものが8件と多く、理由として現場の作業責任者の名
前だけを記載してほかの作業者名(電気工事士名)を
記載していないのが目立ちますが、このことは将来主
任電気工事士の選任をする場合に重要なことですので
欠かさず記載するよう注意して下さい。

昨年九月には電気工事二法が改正され、更には建設
業法も改正されて複雑になって参りますが、よく研究
されて誤りのないよう充分ご留意願います。

組合員の異動

II組織・代表者・住所の変更

(新)

(旧)

一、株和光電気工事(江差支部)

檜山郡江差町字豊川町一六八
檜山郡江差町字新栄町一六七

一、㈲奥尻電機(江差支部)

カトウ電工
代表取締役 藤谷謙吾

一、新生電業㈱函館営業所(西支部)

カトウ電工
代表取締役 加藤純一一、上磯郡上磯町谷好四丁目三一二三上磯郡上磯町字谷好町四六
一、千秋電気工業所(中渡島支部)所長 川向 侃
所長 日向貞男

一、平野電気工業所(中渡島支部)

上磯郡上磯町谷好四丁目三一二三上磯郡上磯町字谷好町四六
一、千秋電気工業所(中渡島支部)所長 上磯郡上磯町谷好町
所長 日向貞男

一、里見電気工事(中渡島支部)

上磯郡上磯町久根別
五丁目九一五
三丁目四一
三八二一九一、上磯郡上磯町東浜
二丁目二七一一

上磯郡上磯町東浜

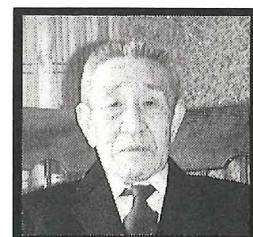
三丁目二七一一

組合員消息

一、一月一日	日本電設工業㈱函館支社長板橋孝之
之殿尊父板橋留美殿ご逝去	
一、一月二日	㈱吉浦電機商会代表者吉浦孝悦殿
岳父岩浦亀雄殿ご逝去	

一、三月五日 山田電気商会代表者山田広勝殿母
堂山田イツ殿ご逝去

一、三月六日 中野電気商会代表者中野三吉殿ご
逝去



中野電気商会代表者中野
三吉氏は、去る三月二十八
日心不全のため入院先の函
館赤十字病院で九十二年の
生涯を終えられました。

自宮後は地域の電化工事に日夜努力を重ね、後輩の
指導育成に励み、私達電気工事業界の発展に貢献され
たことは、私共一同感嘆、敬愛するところであります。
昭和五十一年春頃より体調が思わしくなく入退院の
日々を送って居られましたが、不帰の人となられ、私
達にとっての大切な先輩を失なったのであります。
あなたの残された努力と業績は不滅の道しるべとな
り私共を激励し業界の一層の発展となることを信ずる
ものであります。

中野さんどうか安らかにお眠り下さい。

故人の生前の功績を偲び、謹んで冥福をお祈り
して追悼の記といたします。

合掌

▼追悼記▲

立入検査指摘調

調査件数
29件

	1	標識	指摘事項																			
(1)	店頭用標識を掲示していない。																					
(2)	店頭用標識の掲示場所が不適当である。																					
(3)	店頭用標識が誤っている																					
(4)	店頭用標識の記載事項が誤っている																					
(5)	現場用標識の備付けがない																					
(6)	現場用標識はあるが掲示していない																					
(1)	現場用標識の記載事項が誤っている																					
(2)	工事整理簿																					
(3)	注文者、施工者の記載が誤っている																					
(4)	主任電気工事士名の記載がない																					
(5)	着手、竣工月日の記載がない																					
(1)	備え付けがない																					
(2)	工事整理簿																					
(3)	注文者、施工者の記載が誤っている																					
(4)	主任電気工事士名の記載がない																					
(5)	着手、竣工月日の記載がない																					
(1)	作業者名の記載がない																					
(2)	保存していない																					
(3)	配線図等関係書類																					
(4)	保存が不備である																					
(5)	保存していない																					
5	(4)	(3)	(2)	(1)	4	(2)	(1)	3	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	そ の 他	5	(4)	(3)	(2)	(1)	不 在		
46	5		2	1	6		8	2	5	3						1	2	7	2	2	組合員	
4							1	1									1		1			員外者
50	5		2	1	6		9	3	5	3						1	2	8	2	3	計	

吐魯番(火州)

待望久しかったトルファン駅に着く。ホームに降りるとバラ／＼に坐っていた人達も次々に寄つて来て全員集合。普通車に乗った人達には心から申しわけないと思う

駅にウイグル人の女性通訳兼ガイドが来ていた。名前はハバクリ(巴哈古麗)さんと言う。藩さんは自國の言葉が思うように通じないのに抵抗があるとボヤいていたが、民族同志の言葉が日常語だろうし中国語(漢民族語)は公用語なのだろう。マイクロバスにムリムリ全員が乗つてホテルに向う。

門柱に「吐魯番旅游賓館」の看板がかかる。門の中に入るや異国をマザ／＼と感じさせた。中国そのものが異国なのだが急に建物の屋根がドーム型になり、鼻の高いウイグル人が歩いている。見なれて来た軒先のそり返つた瓦屋根とは全く異質である。トルファンは西域全体から見ると一番東の端にあり中国の影響を一番先に受けた。トルファンは人口十九万人、そのうちウイグル族が十三万人。ほかに十三の少数民族が住む。漢民族の数など知れている。藩さんのボヤくのも無理はない。

部屋に入つたら前日の宿泊者の後仕事が出来ていなか。シーツはゴチャゴチャと丸められ洗面所は水だけ、トイレは洋式だが詰つたまゝである。掃除係がまだ出勤していない、いったい何時の出勤時間なのだろうか、そろ／＼十時になろうとしているのにと思う。太陽もキラキラして働く時間が思うが時間が行動を指



中 国 に 魅 せ ら れ て (五)

平 沢 翔 子

図している国ならではの状態である。シーツを裏返して一休みする。扇風機があつたので廻しつばなしにしたので夜もよく眠れた。

見学は午後との事で外に出てみる。昼食迄と道を聞いてバザールに行く。道の両側はブドウ棚のように青々とした木のアーケードになつており丁度いい木蔭となっている。あちこちに老人が涼をとっている。それが全部男性ばかり女性は一人も見えない。ただチッチと木蔭に腰を下ろしているだけで一人ボツンと、二〜三人ならんで、だが会話をしているわけではない。右を向いたり左に目をやつたり全くただ腰を下ろしているだけである。顔を見ると鼻の高い白ひげの老人ばかり、ウイグル人はかりではないのだろう、服装は総じて質素だった。

バザールに行く途中大きな店があり入つてみる。ミニデパートらしい。トルファン綿と言うから綿製品があるかと思ったらシャツ一枚目につかない。色とりどりの布地が並んでいる。白い服を着た人が多く目につけの不思議な気がする。バザールが何処にあるのかわからないので時計を見ながら途中で引返す。あとで聞いたら隣りを行つたとのことで残念だった。

ハミ瓜を売つている露店に立寄る。小型の青竜刀のような先の尖つた刃物でラクビーのボールのような瓜をスパート切る。実に切れ味が気持ちいい。一切食べてみる。白い果肉に品のいい甘味で水分は十二分、かと言つて柔かくもなく丁度の歯ごたえである。皇帝が名付けたと言うが文句なしに美味しい特産品である。ロバタクシーに乗る。行く時もうるさくまつはりつ

かれたが帰途もそうだったのではためしと乗つてみた。子供の駄者でただロバに荷車がついているだけ、写真などには荷車を布なので囲つてあったがそんなのは一台も見なかつた。ホテルの前で一人一元二人分の料金を支払う時、五元出したら三元のつり、乗る時に一元前払したのでそれを言つたが言葉が通じないので一元カスられてしまう。落語の「時そば」みたいだつた。しかし吾々の持つ兌換券をほしがつて交換してくれと胸のポケットから高額の人民券を何枚も出して見せる。ロバタクシーは外国人相手で結構商売になるのだろう。駄者はすべて子供で大人は一人も見ない。

昼食二時、五時からの見学。五時と言つても陽は高く「日は中天にあり」の感じである。四一五時間の時差があると思はれる。

この日気温四十四度、しかし冬はマイナス二十四度大陸的気候の標本みたいな地である。

交河故城

三回目の訪中の目的の一つはこの古城にあつた。想像以上の見応えのある遺跡である。見学にもう少しの時間と説明がほしいと思った。

交河故城は古代の車師前国（四五〇年に滅亡）の首都である。二本の渦川の又に作られた城跡である。古代は水が流れていたのだろうか、交河故城の名はこの地形に由来する。川からの絶壁は三十メートルの高さで直立であり自然の城壁となる。南北一六〇メートル東西三三〇メートルの台地に計画的に建設されたトルファン盆地の都市である。絶壁上にるので他都市のようにレンガで囲いを築く必要もない。一四五〇年前の漢時代そのまゝの都市遺跡である。

陳舜臣氏はその記録の中に交河故城は彫刻都市であると書かれている。普通は地上に土又はレンガを種み重ねて作るのだが、この城址は上から土を堀り進んで都市としたので人的な破壊には遠い。オアシスから十キロ、トルファン盆地の西端にある。古代唐はここ

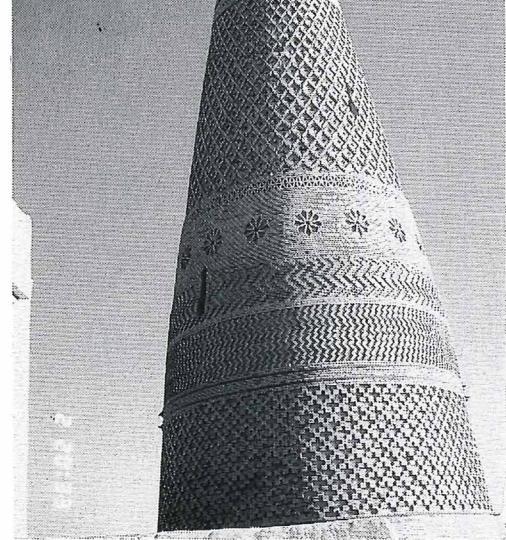
に西域都護府を置いた。匈奴と漢の間にさまれた小国、車師前国は悲劇の主人公である。

通路だと言う処を歩き建物があつたと言うところで立止る。廢墟には違ひないがただの土塊ではない。年間雨量二十一三十ミリと言うから崩れる事もなく年月の重さ、歴史の深さが身にひしひしと感じさせる城址である。

説明がない限り吾々にはかつてここには寺院があつた、ここには役所があつたと言う事はわからない。案内のハバクリさんもこの通りに何が建つていたかと言ふ事迄は説明出来ないらしい。小休憩した処は通路にある門らしい入口をくぐつて下方に歩いたから一般住民居住地区ではないのか、日本なら事細かな説明の立札が立ち日本語以外の説明もつくと思う。赤土の壁を見あげそこはかって何であったのだろうか、どんな人が住みどんな生活が當なまれていたのだろうかと想像するだけで時間が経過して行く。

当時住民はイラン系が多く漢民族も二代三代と住みついていたらしい。仏教のほかゾロアスター教、マニ教、ネストリウス派キリスト教などを信仰していたと言ふから信仰は自由だったのだろう。陳舜臣氏の記録亡とは非常なものである。常に匈奴に

おどかされ漢に睨まれて大国の鼻息をうかがつていていた小国にとつては、吾々单一民族の想像などでは及びもつかない悲惨さがあつたと思う。



イスラムの塔

カレーズ
地下水道である。のぞいて見たが中が暗く水など全然見えない。サラ／＼と水の流れる音すら聞えない。よほど深い位置にあるのだろう。ハバクリさんが付けて来ないので滑車の取り付けた處まで行って見る。多分ここからバケツでもつけて汲み上げるのだろうと思うが人家のある通路迄結構な距離がある。水汲みは女の仕事らしいから水運びも大変な仕事である。トルファン市内では四〇ヶ所以上もこのカレーズがあると言う。水路の出口の流れをすくつて一口含んでみたが氷のように冷たい。天山の万年雪を利用していると言ふから冷たいのもうなづける。トルファン盆地ではすべて天山の水の恩恵を受けていると言う。地に出了水はサラ／＼と心地よい音を立てて並木を潤して流れていった。

「魏書」に「引水溉田」とあるそうだからその頃すでにカレーズは使用されていたのだろう。「魏」は紀元前の国である。

イスラムの塔

額敏の塔とも言う。イスラム教寺院のミナレットの事である。二〇〇年位前迄この教会（イスラム寺院）は使用されていた。この塔は寺院の附属で高さ一三七メートル、細長いレンガ積みで图案の違う十四の模様が高い塔に次々と変化して美しい。

寺院の中は柱もなくただガランとして虚しさがあった。額敏は吐魯番郡王であつたのでこの寺院を建てたと言う。

ブドウ園

ブドウ棚の下で本場のブドウを食べる。白ばかりで黒・赤はない。粒も小さく房もそれ程大きくなはないし粒のつきも日本のように隙間なくびっしりと言うではないが、味はさすがすばらしいの一語、日本の作られた味とは違う。自然の味は本当においしい。

将進酒 李笑 七九一八一七

琉璃の鏡

琥珀濃し

この詩を明治の文豪芥川竜之介が愛誦したと言う。

真紅の酒はブドウ酒、琉璃の鏡はガラスのコップ、「夜光の盃ブドウの酒」と言はれた古代からワインの原産地である。マスカットの原種らしいものを食して見た

がブドウに比して数段落ちる。すべて種子なしである。(帰國してから赤もあり馬の乳首に似ている馬奶奶と

言つ長さ四十五センチもある大粒のブドウがある事を知った)ワインの技術はまだまだこれからのことだと言つていたが夕食に出たワインは抜群においしかつた。

このブドウ園はバスのコースに組み込まれてを必ず立寄るようになつてゐるらしい。ブドウは食べ放題と言つて山のように盛られて出されると、意地きたなサアそれではと意気込んで手を出しても二房がいい

ところ三房には手が出なかつた。西瓜も出たがブドウはブドウ棚の下で西瓜畑で食べるが一番おいしく、素直なもの考え方であり贅沢な事だと思う。

子ブドウを作る乾燥小屋を道路のあちこちで見る。千レンガを少しづつずらして積み重ね、ずらした処

が窓となつて空気の流通をよくするように工夫されている。どこの家でもこの小屋が必ず二~三、多い人は四~五あり道路にはみ出したのもあつた。乾燥が激しいから一ヶ月位で製品となり製品の半分は海外に輸出

されていると言う。ホテルの売店にもあって早速試食してみたが生同様美味だった。

夕食

昨夜の寝台車の手配の不手際だったお詫びと言う事で中国側のセットで土地の料理が出る。

羊の肉の串刺し「シシカバブー」はじめ本場のワイン、ウイグルの食品がテーブルに豪華に並べてある。先ずシシカバブーを試食、羊の焼肉と言えばそれ迄だがイヤ味はなく臭も気にならずサラッととした味である。見た目は固そうだが意外と柔らかく私の歯でもおいしく食べられた。

コリヤン酒が出る。アルコール七五度と言うだけあって火をつけるとボッと言う音と共に青い炎がメラメラと立ちのぼった。半口のんだがびっくり仰天、噂に違はず強い酒ではある。その点ワインは丸やかなソフトの甘味で追加する位だった。

夕食後暑いので民族舞踊を見学に行く。ホテルから五六分歩いたところにありブドウ棚の下に舞台と観客席がある。吾々のほかに先客がありアメリカ人かヨーロッパ人か四十五人あとは全部日本人である。椅子の数にして四十五人位と思はれたがホテルにセットになつているのだろうかとも思はれる。

若い男女が歌つて踊つてゐる。女の子はすべて髪が長く皆二つに分けて三つ編んでいた。民族衣装は色とりどりで鮮やかである。総じて原色で中間色と言ふのはあまりない。楽器は弦と打楽器で吹奏のは使用

していかなかつた。歌も調子が高く伴奏もすべてトーンは高い。終りごろ日本の芦洋子の歌つた「四季の歌」を日本語で披露した。いかに日本人が多いかと言う証拠だろう。

次号につづく

組合員のみなさん
『労働保険(労災保険)
雇用保険)』の加入手続
はおすすめですか。

一人でも労働者(パート、臨時を含む)を雇用している事業所は法律により、労働保険に加入することが義務づけられています。
一日でも早く加入して、安心して働く職場づくりに努めてください。

※※加入等の手続について、労働保険事務組合、
社会保険労務士に依頼することも出来ます。

函館公共職業安定所長
函館労働基準監督署長

◎ 加入についてのお問い合わせは、最寄の安定所
労基署へ。

▼お詫び▲

『いなづま』第七五号を新年号として発刊する予定で取りすすめて居りましたが、組合創立四十周年記念号の編集ならびに記念式典等行事のために発刊する事が出来ずにつき今回の発刊となりました。

祝組合創立40周年

あかるい明日を技術でひらく



三菱電材特約店
あらゆる電設資材卸

東芝電材株式会社

函館営業所

函館市大繩町二十二番十四号
電話函館四一一三三四一

技術で創造する

松下电工株式会社

函館出張所

函館市西桔梗町五八九番地一〇七
電話函館四九一五一五二五七

工事材料・電化製品

丸晃電気株式会社

函館市西桔梗町五八九一四九
電話四九一一三一三一三

電気設備機器資材の総合卸商社

大興電機株式会社

本社 函館市西桔梗町五八九一〇七
電話(03)3136956
山越郡八雲町内浦町一〇七番

支店

函館営業所 札幌市中央区北六条西一〇一市一中四中新中野三町一丁目
函館小牧市一中三八島五町三四一丁目
函館苦小牧四番四自九三丁目
函館苦小牧二二一三番二二一五七番二番
電話(03)3136956
電話(03)3136956

電気工事機器
音響通信機器
総合商社

石垣電材株式会社

明日をひらく電設資材の総合卸商社

進和電機株式会社

函館市松川町三四一
電話四二一六二二三一三

電設資材・機電綜合卸

函館市西桔梗町五八九一〇八
電話四九一六二二二六

株式会社

工三ヤ商会

函館市富岡町二丁目四一
電話四三一三〇一(代表)
本社 札幌・営業所 鉄路、苦小牧